

安心のまちづくりのために

第56回

高齢者の暮らしを考える

シルバー人材センター お元気応援室の 会員さんの活動について

インタビュー

シルバー人材センター「お元気応援室」の会員さんたちが、毎月1回、駅部田町「サロン優」にて体操の指導や、介護予防のためのレンタルグッズの配達・回収などを行っています。

シルバー人材センター「お元気応援室」を取材しました。「ニード」では高齢者の活力推進を目的に、「お元気応援ポイント事業のサポート」「介護予防のためのレンタルグッズの配達・回収」「体操や絵手紙などの技能のある会員の集いの場への派遣」といった大きく3つの仕事に取り組んでいます。

今回は実際にお元気応援室の依頼で働いている会員の徳田さんにお話を伺いました。

どんな仕事をされていますか。

お元気応援室の仕事として、月に1回「サロン(介護予防の集いの場)へ認知症予防や体操の指導、介護予防のレンタルグッズの配達・回収」を行っています。

レンタルの利用も少しずつ増え、活用してもらっているサロンには大変喜んでもらっています。参加者としても地域のラジオ体操に毎朝行き、お元気応援ポイ

ントを貯めています。会員の仕事もそうですが、参加者としてポイントを貯めることもあります。

活動を続けていて
想いを教えてください。

10年ほど前からシルバー人材センターに登録して、色々な仕事をさせてもらっています。家でじっとしているより、外にでかけて何かをしている方が自分にあっているので、とても楽しく活動しています。サロンやラジオ体操の場でたくさんの人と交流することで私自身も元気にしてもらい、もっと働きたいと思うほどです。

お元気応援ポイント事業

宅老所(サロン)など、65歳以上の人気が4人以上かつ月1回以上、介護予防や健康増進につながる活動をしている団体が対象です。登録後、会の活動1回参加ごとに1ポイントスタンプを押し、20ポイント貯まるともれなく参加賞がもらえます。



【問】 高齢者支援課 ☎53-4099



シルバー人材センター
会員 德田佐起子さん

大事なかもしません。これからも楽しみながら継続して元気に過ごしたいと思います。

地域を元気にするための活動をすることでも、自分自身も元気になります。

こういった好循環を生みだすことがお元気応援室の役割となっています。

